

義務教育学校開校に向けての
保護者アンケート調査
結果まとめ

令和 8 年 2 月

目次

1	意見聴取の概要	1
1.1	実施概要.....	1
1.2	設問内容.....	1
2	結果まとめ	2
2.1	（設問 1）義務教育学校に期待すること、また大切にしてほしいこと	3
2.2	（設問 2）義務教育学校で心配なこと、困ること	4
2.3	（設問 3）新しい学校と地域の関係について、期待したいこと、改善してほしいこと	5
2.4	その他（上記 3 項目に当てはまらないこと）	6
3	個別の回答	8
3.1	（設問 1）義務教育学校に期待すること、また大切にしてほしいこと	8
3.2	（設問 2）義務教育学校で心配なこと、困ること	13
3.3	（設問 3）新しい学校と地域の関係について、期待したいこと、改善してほしいこと	19
3.4	その他（上記 3 項目に当てはまらないこと）	24

1 意見聴取の概要

1.1 実施概要

目的	義務教育学校の整備に関して、現在町内の小中学校に通う児童生徒の保護者を対象に意見を聴取するため
実施方法	連絡システム「すぐーる」にて配信し、オンラインフォームより回答を回収した
実施期間	令和7年1月16日（金）～2月2日（月）
対象者	・町内の小学校に通う児童（1,031名）の保護者 ・町内の認定こども園に通う園児（471名）の保護者
回答数	50件

1.2 設問内容

1	義務教育学校に期待すること、また大切にしてほしいこと	記述
2	義務教育学校で心配なこと、困ること	記述
3	新しい学校と地域の関係について、期待したいこと、改善してほしいこと	記述
	その他（上記3項目に当てはまらないこと）	記述

2 結果まとめ

各設問の回答内容をカテゴリー（大項目、小項目）に分類して整理した。同一内容の意見は一つにまとめ、回答者数を集計した。1つの回答に複数の意見が含まれている場合があるため、各項目の回答数と意見数の合計が一致しない場合がある。なお、文章は原文のままではなく、一部要約している。

2.1 (設問1) 義務教育学校に期待すること、また大切にしてほしいこと

- 「学習・生活環境・制度」に関する意見が最も多く、中でも、得意不得意に応じた「個別最適な学び」や、「一人一人に目が届く指導体制」を期待する、または大切にしてほしいと考える意見が多く見られた。
- 「学びの内容に関する意見」では、他者との関わり方やルール遵守など、集団の中で社会性を学ぶことを重視する意見が多い。

大項目	小項目	意見	回答数
学習・生活環境・制度			32
学習・生活環境に関する意見	個別最適な学び	個別最適な学び	5
		一人一人に目が届く指導体制	6
		安心して過ごせる環境	4
		チャレンジを応援する環境	2
		つながりの形成(友達・縦)	2
		集積停止期間中のリモート学習の向上	1
		学び成長できる環境	1
		将来の選択肢を広げるお手伝い	1
	学びの内容に関する意見	社会性を身に着けること	8
		学力・知識を身に着けること	3
教育理念に関する意見	個性の尊重	2	
	社会を良くしていくという教育	1	
	未来のリーダー育成	1	
	学年を超えた関りや、団体でしかできないことを大切に	1	
学習方法・指導方法に関する意見	教科担任制の実施	3	
	カドケド以外の宿題	1	
	ダメなことはダメと叱る指導	1	
	担任の先生の指導力向上	1	
	小学生と中学生の交流	1	
	授業時間数の改革の存続	1	
	問題・課題に関する意見	いじめ問題への対応	1
	中1ギャップの軽減	1	
支援体制(心・障がい)			4
	心の教育(スクールカウンセラー、発達心理士の複数人常駐)	1	
	特別支援学級の教員、教室の確保	1	
	不登校の受入れ強化	1	
	障害児の個別指導	1	
施設・設備			3
	一斉授業形式でない教室の設計	1	
	IT導入は慎重にしてほしい	1	
	制服が変わる場合、学ラン又は自由等にしてほしい	1	
行事			4
	行事の時期の統一	1	
	行事を無くす、精選する	2	
	子どもたちが全力で取り組める、盛大なイベントや行事の実施	1	
保護者対応・連携			4
	個別懇談の時期の統一	1	
	指導や大切にしていることの保護者への共有	1	
	保護者と学校教育の連携強化	2	
地域とのつながり			2
	地域とのつながりの継続	2	
その他			4
	小中連携していることの良さが、子どもに実感できる学校に	1	
	グランドデザインを分かりやすく、芯のあるものに	1	
	暴言や暴力、ハラスメントに対し、子どものみならず先生も守られること	1	
	教員の負担軽減	1	
その他(補足的な意見)			1
回答者数			50

2.2 (設問2) 義務教育学校で心配なこと、困ること

- 設問1と同様に、「学習・生活環境・制度」に関する意見が最も多く、特に、児童生徒が増加することで、いじめや仲間外れ等の人間関係の問題を心配する声が多い。また、中学生が小学生に与える影響について懸念する声がある。
- 設問1で期待すること、大切にしてほしいこととしても挙がった「一人一人に目が届く教育体制」について、児童生徒数の増加により実現が可能か懸念する声が寄せられた。
- 通常時の支援体制（心・障がい）に関する意見に加えて、統合時の環境の変化への適応について心配する意見も見られた。

大項目	小項目	意見	回答数
学習・生活環境・制度			26
人間関係に関する意見		いじめ問題や仲間外れ等の発生または増加	7
		苦手な人との付き合い	5
学習・生活環境に関する意見		小学生に対する中学生の悪影響	4
		一人一人に目が届く指導体制（実現可能かどうか）	4
教科担任制に関する意見		小学生（低学年時）における教科担任制の導入	3
教育効果に関する意見		学力の低下、差の拡大	3
		小学6年生のリーダー教育がどうなるのか	2
		けじめがつけられない	1
その他		通学地域の差による子ども同士の関係の変化や体力差	1
		年齢の幅ができる事や人数が増えること	1
		縦のつながり規模が大きくなることで、共通理解が途切れること	1
		LGBT等に関する授業や、歴史教育の内容	1
		上下関係や礼儀、我慢する経験の軽視	1
統合時の環境の変化に関する精神面について			3
		統合時の環境の変化に適応できるかどうか	3
支援体制（心・障がい）			3
		発達障害児やグレーゾーンの発見やフォロー	1
		学校へ行けなくなった時の相談先や、サポート体制	1
		低学年の不安定な心のケア	1
施設・設備			4
		体操服や制服（前倒して統一してほしい）	1
		各学校の備品を活用してほしい	1
		タブレット学習の普及による、紙の本に触れる機会の減少	1
		体育館の設備（暑い夏や寒い冬にも授業が行えるよう）	1
		行事の際の駐車場が足りるかどうか	1
PTA、保護者会等			4
		役員の仕事	1
		PTAの在り方、業務	2
		保護者の学級委員（ない方向で考えてほしい）	1
建設場所			3
		建設場所がどこになるのか	1
通学（手段・安全性）			8
		通学手段（どのような手段になるのか、バスに乗り遅れた場合の送迎など）	6
		通学路	2
		距離（遠いと通学が心配）	1
その他			7
		何か問題があっても、地域の人同士のため簡単に関係を切れないこと	1
		廃校の有効活用又は取り壊し	1
		学区が広がることによる学校外での事故リスクの増加	1
		保護者の些細な要望による教員の仕事量の増加	1
		教員による性加害（発覚時には厳格な処分や再発防止策）	1
		事故が起きても親に連絡せず隠そうとする風潮	1
		義務教育学校から他校への転校への不安	1
		教員が辞めてしまった時の影響	1
その他（補足的な意見）			1
回答者数			50










2.3 (設問3) 新しい学校と地域の関係について、期待したいこと、改善してほしいこと

- 「仕事や役の分担」に関する意見が最も多く、PTAや保護者会、子ども会等、学校と保護者と地域の3者間での役割分担について改善を求める声が見られた。
- 「通学路の安全性」や「地域の課題」など、児童生徒を取り巻く地域環境について改善を期待する声が多くある。

大項目	小項目	意見	回答数
仕事や役の分担 (学校-保護者-地域)			7
		役割による負担軽減	4
		PTAの負担軽減、廃止	2
		子ども会の改善	2
		登校班等の担当変更	2
		保護者が地域の役割に参加しない	1
施設や行事の地域開放			3
		グラウンド、体育、図書館等の施設開放	2
		地域の人が参加・来校できる合唱コンクールや演劇、講演等	1
通学路の安全性			4
		通学路の選定	3
		通学路の整備、安全対策	2
		スクールバスの運行	1
		見守り隊の強化	2
交流・教育 (学校-地域)			5
	交流に関する意見	地域での支えや見守り	2
		地域とのつながりが薄れていること	1
		町を代表する学生と町内の企業や様々な施設などとの交流や活動	1
	教育に関する意見	社会教育と学校教育の関りが密になること	1
多文化共生の推進		1	
地域行事			3
		地域行事を減らしてほしい	1
		地域行事を実施してほしい、継続してほしい	2
地域の課題			1
		子どもが遊ぶ公園が少ない、老朽化が酷い、維持管理がずさん	1
		文房具や書籍を扱う店が無い	1
		伝統や文化の継承がない	1
その他			3
		建設する地域によると思う	1
		遠方からの通学がデメリットにならないための支援体制	1
		こども同士、親同士、横のつながり	1
		大野町広域の地理や特色がわからない	1
		保護者が来校する際の駐車場と導線	1
		地域での大人の役割、自治会の仕事や消防団などへの協力が年々希薄になっ	1
		地域毎のルールが違いすぎる	1
	保護者が地域の役割に参加しない	1	
その他 (補足的な意見)			8
回答者数			50

2.4 その他（上記3項目に当てはまらないこと）

- 教育や施設・整備、備品等への意見加えて、義務教育学校の整備や、校舎を新設することへの賛否が寄せられた。

大項目	回答数	
教育	3	
施設・設備	2	
制服	4	
子ども会	2	
交通	1	
義務教育学校整備への賛否	3	
校舎新設への賛否	3	
スケジュール	3	
その他	3	
回答者数	50	

<意見の内容>※要約したものを記載

■教育

・お金の仕組みや債権や株についてなど義務教育から学べる環境を作ってほしい
・外国籍のこども・保護者を全て一律に受け入れる教育体制の推進には慎重になってほしい（教育現場の負担増加、いじめ、学校全体のまとまりや安心感の喪失等の問題より）。
・授業参観や運動会など、親が参加することになると駐車場は、ちゃんと確保されるのか。

■施設・整備

・スクールバス、親の送迎どちらでもできるように、駐車場を広くしてほしい。
・授業参観や運動会など、親が参加することになると駐車場は、ちゃんと確保されるのか。

■制服

・制服を簡単なものにすることを検討してほしい。
・制服を導入してほしい。また、リユースの仕組みを作り、保護者の負担が少なくなるよう工夫してほしい。
・中学生に制服はいらないと思う。
・（在学中に統合されるため、）統合前後で制服の格差が出ないようにしてほしい。

■子ども会

・子ども会の在り方を見直してほしい（上部組織からの脱退、希望者のみの入会など）
・子ども会の存続や廃止は、地域の方ではなく保護者が決めたい。

■交通

- ・統合後はこどもたちの活動範囲が広がるため、交通面を見直してほしい（街灯や広い歩道など）

■義務教育学校整備への賛否

- ・小中を統合する必要はない。
- ・どのようなメリットで（こどもたちに対して）一貫校とされたのか教えてほしい。
- ・義務教育学校開校に大いに賛成。

■校舎新設への賛否

- ・校舎の新設について、予算は大丈夫なのか。既存の校舎を使う案も出してほしい。
- ・中学校を先に合併して大野中校舎を利用、その後近くに小学校の専用校舎を建設すると良い。
- ・大野小、大野中は歴史のある校舎のため、取り壊すことに反対。

■スケジュール

- ・現在今の小・中学校に通っている子供達にも幅広い活動をしてほしく、1年でも早く新校舎をつくってほしい。
- ・開校時期について、令和13年4月と言い切っていないところが気になる。
- ・少しでも早く開校してほしい。

■その他

- ・先生方の意見を多く聞いてほしい。
- ・教師とは？と全教員に聞いてみてほしい。
なぜ子供達は、教師を憧れの目で見ないのか、教師には教師とはどういう立場でいるべきか、考えるのも必要。
- ・新しい学校についての情報が少ない
- ・新しい学校に向けての準備が不安（子供会、PTA、自治会、登校班、各ふれあいセンター）。情報公開を早めてほしい。
- ・今までの学校はどうするのか。
- ・防災力の維持はできるのか。
- ・子どもが減る推計はしてるが、増えた時の対応は考えてるのか、また増やす努力はしているのか。

3 個別の回答

各設問における個別の回答を、カテゴリー（大項目、小項目）別に以下に記載する。なお、文章は原文のままではなく、一部要約している。

3.1 （設問1）義務教育学校に期待すること、また大切にしてほしいこと

■学習・生活環境・制度

学習・生活環境に関する意見

- ・ 個別最適な学び
 - 個人の学力、体力にあわせた個別カリキュラムや授業の飛び級などもできるといい
 - 1人1人に寄り添った学習環境
 - 1人1人に合った学びがきちんとできる環境
 - それぞれに合った学習の提供。
 - 出来る子も出来ない子にも寄り添ったそれぞれクラス分けされた授業。
 - 個人の能力や発達段階に応じた指導。
- ・ 一人一人に寄り添う指導体制
 - 先生の目が届きやすい環境
 - 大きい集団になっても、少ない人数の規模の時のように、個々を大切に、きめ細やかさを忘れずに指導をお願いしたいです。
 - 児童が増えるほど、先生の目が行き届かないため、職員を増やすなど児童一人一人をしっかりと見てほしい。
 - 1人1人に寄り添い、疎外感を感じることがない環境。児童一人一人に心から向き合える気骨のある教師が沢山いること
 - 一人一人の子どもたちにしっかりと向き合える環境をつくってほしいです。
- ・ 安心して過ごせる環境
 - 全ての児童生徒に対し、1人も取りこぼすことなく、安心して学校に通える環境
 - のびのび過ごせること
 - 子供が安心して通えること。
 - こどもたちの心が健やかでいられること
- ・ チャレンジを応援する環境
 - 苦手なことも得意なことも違いはあっても、前向きに頑張れるようになる雰囲気。
 - 沢山の経験・チャレンジをして主体性を身につけられる環境。
 - チャレンジする人を応援・支援出来る環境作り。

- ・つながりの形成（友達・縦）
 - 友達と楽しく過ごす中で学力の基礎を培うこと
 - 縦割りの繋がり
- ・出席停止期間中のリモート学習の向上
- ・学び成長できる環境を期待している。
- ・将来の選択肢を広げるお手伝い

学びの内容に関する意見

- ・社会性を身に着けること
 - 人間関係を学べる場
 - 人との関わりを学ぶ
 - 基本的な人間関係、集団行動。
 - 勉強だけでなく、友達や先生など周りに関わる楽しさ、協調性を身に着けられる場。
 - 歳の違う児童同士の絆
 - 人との関わり方の基本的なマナーやルール、組織に属するなかで一人一人の役割があることを学ぶこと。
 - 生きていく中で大切な心を育ててくれる
 - 教育で行えるモラルの向上
 - 集団生活の中でのルールを身につける事
 - 挨拶
- ・学力・知識を身に着けること
 - 勉強の基礎を教えてくれる
 - 金融教育
 - 学校で教えてもらえる基本的な事はしっかりと学ばせてもらいたい。

教育理念に関する意見

- ・個性の尊重
 - 個性の尊重と一人一人の長所(得意)の育成
 - こどもの学力ではなくそれぞれの強みや、個性を大切にしてほしい。
- ・社会を良くしていくという教育
- ・未来のリーダー育成
- ・人数が今より増えるので、学年を超えた関わりや、団体でしか出来ないことを大切にしてほしい

学習方法・指導方法に関する意見

- ・教科担任制の実施
 - 強いて言うなら、教科担の乗り入れなどにより、色々な先生に関わっていただくことで、学力向上や、生き方指導を色々な視点でしていただけること
 - 教科担任制などの改革は存続させてほしい
 - 教科担任制による、児童の学力アップその他
- ・カドケド以外の宿題
- ・ダメなことはダメと理解できるよう、ちゃんと叱ってほしい。
- ・担任の先生の指導力向上を期待します。
- ・小学生と中学生を分けつつ交流があるといいと思う

問題・課題解決に関する意見

- ・イジメ問題は必ず守ってほしい。
- ・中1ギャップの軽減を期待する

■支援体制

- ・心の教育(スクールカウンセラーや発達心理士等が複数人常駐しているといい)
- ・特に支援学級に在籍する生徒たちは環境の変化を敏感に感じやすい。個々の支援や特別支援教育に理解のある先生を多く在籍させてほしい。また学校ごとにある特別支援学級は人数が決められているので、教室の確保と先生の確保をしっかりとやってほしい。
- ・不登校の受け入れを強化することを大切にしてほしいです。
- ・いまは適応指導教室が町外しかなく親が送っていくしかありません。時間も始まるのが遅く、終わるのが早いので、親の仕事と合いません。ファミサポは大人から大人への引渡しが必要とのことで思った以上にお金がかかります。あいのりくんは町外に対応していません。義務教育なので取りこぼしのないような教育体制に出来ることを願っています。
- ・とにかく障害児の個別指導をしっかりと欲しい

■施設・設備（教室、体育館、制服など）

- ・一斉授業形式でない教室の設計。
- ・ITの導入には慎重になって欲しいです。世界的にも、子どもたちのIT導入での弊害が問題になってきています。やはり、自分の手でノートに書くこと、本をめくりながら読むことで知識の定着がされていくのだと思います。素晴らしいITの設備はありません。先生方が本当に授業で必要だと感じる設備のみ導入して欲しいです。タブレットも本当に必要あるのでしょうか？カメラ機能など、便利な点もありますが、1人に1台も必要ないと思います。子どもたちが共同で使える物があれば十分だと感じます。
- ・制服も大垣市みたいに変わった場合、今中学生の子のおさがりができないとかあるので、学ランもしくは自由等にして欲しいです。

■行事

- ・行事の時期の統一
- ・行事を無くす、精選する
 - 昔ながらの古い教育、行事は無くしてください
 - 小中学校時代に培ってきた行事精選などの改革は、存続させてほしい。
- ・学年が多岐に渡る分、子ども達には多くの仲間と切磋琢磨して、全力で取り組めるようなイベント、行事を組み込んでほしいです。一生に一度の学生生活です、簡素化はせず、盛大に取り組んでほしいなと思います。

■保護者対応・連携

- ・個別懇談の時期の統一
- ・学校での指導や大切にしていることが、保護者にきちんと見えてくること。義務教育学校でも今の学校でもそこは変わりません。
- ・保護者との学校教育の連携強化
 - 保護者が学校教育に関われるような仕組み
 - 家庭任せ、子供任せの教育ではなく、密に関わり合い、家庭・子供・教育現場のつながりを重視してほしい。

■地域とのつながり

- ・それぞれの地域とのつながりは絶やすことなく継続して欲しいです。自分の地域を他の地域の子たちに紹介するなどし、今まで知らなかった大野町の他の地域のことでも知ったり、自分の地域のことをより深く知る機会として欲しいです。
- ・地域との関わり方
揖東中の子達は、あいさつがしっかりしてくれます。南小学校の子ども達は、元気でとても明るい印象です。発言などもしっかりできる子ばかりだと思います。

■その他

- ・小中連携していることの良さが、子どもに実感できる学校にしてほしい。
学校の骨格になるグランドデザインが誰が読んでも分かりやすく、芯があるものだと、人数が多くてもいい学校になると考えます。
- ・暴言や暴力、ハラスメントに対し、子供のみならず先生も守られる事。(昨今子供から先生への暴言や親からの先生への配慮のなさが度を越えているため、毅然と対応して頂きたい。警察や法律家に相談や来校してもらい対応できる制度が必要)
- ・教員の負担軽減

■その他（補足的な意見）

- ・小学校中学校わけるべき！

3.2 (設問 2) 義務教育学校で心配なこと、困ること

■ 学習・生活環境・制度

人間関係に関する意見

- ・ いじめ問題や仲間外れ等の発生または増加
 - イジメ問題。
 - 学校でイジメの問題が時々ニュースになる。自分の子どもが加害者、被害者にならないかとても心配。
 - 児童が増えるほど、虐めが増えると思う。とても心配です。教師が気づかないところで虐めが悪化しないか。
 - いじめなど。携帯を持つ子が多いと聞きます。LINE グループなどが出来てその動きが凄まじいとも先輩ママから聞き、仲間・友達も大事にしてほしいけど、仲間と群れる事が主な目的にならないか心配。
 - スマートフォンや携帯電話を持つ子どもが増えたことで、SNS を通じたいじめやトラブルが増加している点も懸念しております。学校内だけでなく、家庭に戻ってから人間関係のストレスが続き、子どもが心身ともに休まらない状況が生じていないか、より踏み込んだ対策が必要ではないかと考えます。
 - 人数が増えることでの、イジメが心配です
 - いじめ、孤立、永遠のテーマな気がします。親や指導者が気付かないケースが多々あると思います。子供の SOS を見逃さない為の授業の中に活動を入れて欲しい。とくに SNS は親の管理を含め深刻問題だと思えます。
- ・ 苦手な人との付き合い
 - こどもの人数が少ないことで、友達の幅がせばまること、クラス数が少なかったら嫌な子とずっと一緒になってしまうこと
 - 苦手な人との付き合い方
 - 先生と合わない、友達と合わないとなった時の不登校が心配。
 - 友達関係
 - 友達の多い子や活発な子に嫌われると 1 人だけ仲間はずれになる気がする。
- ・ 小学生に対する中学生の悪影響
 - 上級生と下級生の歳の差や体格差によるイジメ等の被害/加害認識の違い
 - (大野町の中学生の状況がわかりませんが) いわゆる荒れている、と言われているような負の部分が、小学生にも波及してしまうこと。
 - 小学 1 年生から中学 1 年生と 9 歳離れている為小さい学年の子達のがのびのび遊んだりできるのか心配です。
 - 中学生の行動や言動に影響を受けやすくなるのも心配です。良い行動であれば良いですが、まだ小学生では知らなくて良いような大人びた内容、服

装、流行りのもの、言葉など、見たくなくても目に入る環境になるのではないか、とってしまいます。

学習・生活環境に関する意見

- ・一人一人に目が届く指導体制（実施可能かどうか）
 - 児童生徒一人一人に教員の目が届くのかどうか。
 - 1 クラスの人数が増えるので、担任 1 人で生徒全員を見られるのか、目が行き届くのが不安になる。
 - 逆に人数が多くなるので先生方の目が行き届かないのではと心配
 - 教師の目が行き届かなく、授業内容が分からなくても、そのまま進んでいってしまうのではないか。

教科担任制に関する意見

- ・小学生（低学年時）における教科担任制の導入
 - 小学生への教科担任制
 - 1～3 年生は特に先生との信頼関係を構築していくにも時間がかかるため担任がほとんどの授業を行う制度を維持して欲しい。
 - 小中一貫校だと教科担任制となり、特に小学生の精神面や勉強面を全面的に細かく把握できている現在の担任の先生のような存在がなくなると聞くので、とても不安です。低学年の間だけでも、現行の小学校のような形とし、子ども達や保護者との連携がとれるようにしてほしいです。
 - 親が学校生活での様子を毎日担任から確認できないこと。

教育効果に関する意見

- ・学力の低下、差の拡大
 - 学力の低下が心配。
 - 勉強についていけないと、おいていかれる。
 - 塾に行かないと学力に顕著な差が出ること。
- ・小学 6 年生のリーダー教育がどうなるのか
 - 小中一貫校ということは、今まであった 6 年生の卒業式、中 1 の入学式がなくなることです。最高学年としてリーダーを担ってきた 6 年生の経験が今後どのような形になるのか心配です。リーダーとしてまとめる経験や先頭に立って率先する経験を今まで以上に増やして、多くの子に経験できる機会を作って欲しいと願います。
 - 小 6 の子が最高学年という責任感を持つことができる環境になるのか

- ・けじめがつけられない。小中一貫校、北方学園は失敗してますよ！
- ・通学区域の差による子供同士の関係の変化や体力差(バス通学と徒歩通学)

その他

- ・生徒の年齢の幅ができることや人数が増えることに少し不安があります。
初めてのことなので想像ができません。
- ・LGBT 等に関する授業についてです。人権や多様性を尊重すること自体は重要である一方、年齢や発達段階への十分な配慮がなされないまま、特定の価値観や考え方が一方的に教えられていないか、不安を覚えています。海外では教育内容を制限・見直す事例もある中、日本では慎重な議論が十分に行われているのか疑問に感じています。
また、歴史教育において、自国を過度に否定的に捉える視点が強調されすぎていないかという点も心配しております。過去を正しく学ぶことは重要ですが、それと同時に、自国の文化や歩みを尊重し、子どもたちが日本に誇りや愛着を持てる教育が必要だと考えています。
さらに、近年の教育現場では上下関係や礼儀、我慢する経験が軽視されつつあるように感じます。叱ることや注意することを過度に避ける教育は、結果として忍耐力や責任感の低下につながり、社会に出た際の適応力の弱さとして表れているのではないのでしょうか。適切な指導と厳しさもまた、子どもの成長には必要不可欠だと感じています。
- ・縦のつながり規模が大きくなるため、共通理解が途切れないか

■統合時の環境の変化に関する精神面について

- ・統合時の環境の変化に適応できるかどうか
 - 子供が中学2年の時に編入予定なので、環境の変化について行けるかが不安。
 - 我が子でいくと、中3の時に大きく環境が変わることになるので、精神面でのサポートや配慮等が丁寧にできるように全大人で動けるようにして下さるようお願いしています。
 - 現在、クラス替えを経験せずに狭い世界で生活している子供たちが急にクラス替えがあったり、大人数の中に入っていき環境の変化が心配・こどもの人数が少ないことで、友達の幅がせばまること、クラス数が少なかったら嫌な子とずっと一緒になってしまうこと

■支援体制（心・障がい）

- ・発達障害児やグレーゾーンの発見やフォロー
- ・学校へ行けなくなった時の相談先や、サポート体制が無い。民間頼り。
- ・低学年の不安定な心のケア

■施設・設備（教室、体育館、制服など）

- ・体操服や制服は？前倒しでもいいので来年の一年生からでも統一してほしい。途中で買うのは負担になる。
- ・新校舎に移るとき、各学校から使えそうな備品を活用してほしいです。多くの学校が廃校になるので、資源を有効活用したいです。特にモニターや図書、美術理科等の備品です。
- ・タブレット学習の普及により、紙の本に触れる機会が減少していることです。読書を通じて培われる集中力や想像力、また自ら考え、思考を深める力が十分に育まれているのか疑問を感じる場面があります。海外では、子どもの発達への影響を踏まえ、デジタル教育を見直す動きもあると認識しており、日本の教育がその流れと逆行していないか懸念しております。
- ・子供の習い事で夜に大野小体育館を借りています。現状の大野小体育館は夏は暑く冬はとても寒い、外気温と変わらないか夏はそれ以上に感じます。
これでは体育の授業がまともにできないのではないかと心配しています。新しい学校で体育館の設備も整えていただけると嬉しく感じます。
- ・行事の際の駐車場は？全員が駐車できるの？

■PTA、保護者会

- ・役員の仕事
- ・PTAの在り方、業務
 - PTAの在り方。これを機に、郡PTAを脱退して、保護者会的な活動（純粋に子どもたちの学校生活を支える活動）に切り替えてほしいです。
 - 仕事をしているとPTAの業務などが回ってきたらと思うと不安
- ・中学校も一つになる予定ですが、今、揖東中では保護者の学級委員がありません。大野中は知りませんが、役員等も合併された場合、今までなかったのがやらないといけなくなるのが困ります。ない方向で合わせてもらえると助かります。また知らない保護者が集まる為トラブルにもなると思うので凄く心配です。

■建設場所

- ・場所がどこになるのか。近くに学校があるから、そこに家を建てたのに、変わるのは困る。
- ・どこに建設するのかわからない。
- ・場所

■通学（手段・安全性）

- ・通学手段（どのような手段になるのか、バスが乗り遅れた場合の送迎など）
 - 登下校は歩きか自転車のみ？バス？
 - 通学手段
 - 遠いならバスなどを検討してほしい
 - 学校までの距離が遠くなった場合、通学バスが出るのか。
 - 徒歩圏外の通学
 - スクールバスが出された場合、自転車で通えるところならいいんですが、乗り遅れたら保護者が送迎しないといけないとかも困ります。
- ・通学路
- ・通学距離が遠い為通学が心配。

■その他

- ・何か問題があっても結果は“地域”の人間同士で、顔を合わせたり、簡単には関係を切る事ができない。
- ・廃校になった校舎がそのまま残るといつか廃虚のようになってしまいます。廃校になった校舎は民間に有効活用してもらうか、校舎の取り壊しをしてほしいです。運動場や体育館はそのまま地域で使えそうですが。
- ・学校が遠くなり、学区が広がることで遠方の友人と遊ぶことになる機会も増える。自力で遊びにいった時の事故リスクが高まる。
- ・学校に些細なことでクレームや要望をいう親がいると、先生達が親に変な気を使って、量も内容も必要の無い仕事が増える。
- ・最も深刻に受け止めているのが、教師による性被害の問題です。教員不足が深刻化する中、残念ながら不適切な動機で教職を志す者が入り込む余地が生じていないか、不安を拭えません。子どもたちの安全を守る立場にある教員による被害は、決してあってはならないものであり、発覚時には厳格な処分や再発防止策を徹底していただきたいと強く願っております。

- ・事故が起きたにもかかわらず、親に連絡せず隠そうとする風潮を心配する。子供から聞いてびっくりする。
- ・義務教育学校から他校への転校への不安
- ・教員が辞めてしまった時の影響

■その他（補足的な意見）

- ・過疎化による教育格差

3.3 (設問3) 新しい学校と地域の関係について、期待したいこと、改善してほしいこと

■仕事や役の分担 (学校-保護者-地域)

- ・役割による負担軽減
 - 手伝えることは手伝える人で手伝える範囲で行うこと、旗当番など回数が多くなって負担に感じます
 - 役割の効率化
 - 保護者、教師の効率化を進めて負担改善し教育に使える時間に充てて欲しい
 - 新しい学校から遠い地域と近い地域の、自治会の負担の差
 - 保護者同士のトラブルは絶対出てくると思いますので、できることなら役員等保護者への負担を少なくして頂きたいです。苦手な人との付き合い
- ・PTAの負担軽減、廃止
 - PTAもボランティア制にしてほしいです。PTAもないならいいです。子どもが楽しく通えればPTAがなくても全く関係ありません。
 - PTA役員の負担
- ・子ども会の改善
 - 地区の子ども会不要
 - 各子ども会のやり方がバラバラすぎる
- ・登校班等の担当変更
 - 今まで、登校班関係の仕事は実質、子ども会が主体で行ってききましたが、バス通学の地域も増えると思うので、主体を学校に移管して、有償ボランティアを募って運営していくべきだと思います。(いつまでも、保護者や地域など、無償のボランティアに頼りすぎないで、誰も不公平さを感じないシステムの構築をお願いします。)
 - 登下校は地域、保護者で全て考えてほしい。町としては、スクールバスなどを手配することに専念してほしい。
- ・保護者が地域の役割に参加しない

■施設や行事の地域開放

- ・グラウンド、体育、図書館等の施設開放
 - グラウンドや体育館を地域みんなが使えるようなオープンな関係を期待。まるで海外のハイスクールやキャンパスのような施設環境
 - 地域の人が入れるスペースがあってもいいのかも、と思う。図書館開放など。防犯上難しいかもしれないが、許可証を発行した人だけ利用可能とか。
- ・開かれた学校になると良いと思う。授業参観は家族だけが基本的に訪れていると思うが、地域の人が入れる合唱コンクールだったり、演劇や講演を誰でも見られる等を、防犯には気をつけなければいけないが、開かれた学校を期待したい

■通学路の安全性

- ・通学路の選定
 - 通学路の選定も気にかけてほしい。自転車通学は車通りが多いところもあるので安全面で不安が残る。
 - 子どもが安心して通学できる安全な通学路の確保・点検
 - 通学路の確保がまだできていない。
- ・通学路の整備、安全対策
 - 危険箇所を知らせるのぼりや表示の充実
 - 車道の横を子供が歩いている現場。縁石や遊歩道をしっかりと設置してほしい。費用はかかるが、子供の命には変えられない。
- ・スクールバスの運行は学年問わず行えるとありがたい。
- ・見守り隊の強化
 - 地域見守り隊の活動の維持および可能であれば強化
 - 登下校時の見守り

■交流・教育（学校-地域）

地域との交流に関する意見

- ・ 地域での支えや見守り
 - 地域で子どもを見守っていけるような形にしてほしい。
 - 地域の支えも必要と思う
- ・ 近年、地域との関わり合いが以前より減少していることは、時代の流れとしてやむを得ない面もあると理解しております。しかし、子どもたちの立場で考えると、周囲の大人の目や地域のつながりが薄れることは、大きな不安要素になっているのではないかと感じています。
- ・ 大野町の中に1つだけの学校となるため、町を代表する学生と町内の企業や様々な施設などとの交流や活動ができるのではと思います。

教育に関する意見

- ・ 社会教育と学校教育の関りが密になること
- ・ 大野町は人口減少が進んでいると同時に、外国人（おそらく技能実習生？）は増えているように感じる。多文化共生も進めてほしい。

■地域行事

- ・ 保護者は子育て・仕事で忙しい日々です。極力地域行事は減らして保護者の負担を減らしてほしいです。
- ・ 地域行事を実施してほしい、継続してほしい
 - 小学校と地域が行う行事が今は全くありません。他地域を見るとお餅つきや清掃活動、音楽鑑賞会、運動会、逃走中など様々な催しがあるようです。小学校の体育館で青年育英会やコミュニティセンターとの連携ある会を持てたら、もっと大野町が好きになっていくのではないかと思います。ただ、やるのではなく子供が楽しみになる会を企画するのが重要だと思います。
 - 校区ごとでいいので、町民運動会が継続されるといいなと思います。

■地域の課題

- ・ 子どもが遊ぶ公園が少ない、老朽化が酷い、維持管理がずさん
- ・ 文房具や書籍を買う店が無い
- ・ 伝統や文化の継承がない

■その他

- ・建設する地域によると思うけど。
- ・遠方からの通学がデメリットにならないための支援体制
- ・子供達同士、親同士、横のつながりを大切にしたい
- ・大野町広域の地理や特色がわからない
- ・保護者が来校する際の駐車場と導線
- ・地域での大人の役割、自治会の仕事や消防団などへの協力が年々希薄になっている
- ・地域毎のルールが違いすぎる
- ・保護者が地域の役割に参加しない

■その他（補足的な意見）

- ・もう大野町から出ていきたい
- ・人数が増えることで体育祭など盛り上がるかと思えますので期待しています
- ・9年同じ顔ぶれで学ぶことによって、個性や特性を把握して貰えることを期待したい。
- ・色々な地域から子供が集まることで、今まで小さい小学校から、一気に規模の大きい中学に進学するのは違い、学年や地域も様々なコミュニケーションが生まれる。ただ、今までのように全ての先生が1人1人の生徒の名前や存在が認識できなくなり、目立たない大人しい子にとっては安心できる環境ではなくなるのではないかと心配しています。
- ・教師の質の改善
- ・なぜ、大野中、大野小でいいのに、新しく作って一貫にするの意味は？
無駄なお金だし、みんな合併するなら、大野中と大野小にいくことになるんだらうなとある程度は思ってるのに、新しい場所、一つにしたら、ほぼ全員が反対するのでは？
大野中、大野小にしたら、バスセンターが近くにあるから、遠い人もバスのってバスセンターから歩いていけるのに
わざわざ違う場所にする意味がわかりません
- ・一貫校は学校が嫌いな子不登校の子とかにとっては9年間は最悪になるんじゃないかと思って反対です。
- ・算数セットや習字道具、エプロン、鍵盤ハーモニカ、防災頭巾等、学校の備品として管理することはできないでしょうか。人数も減ってますし。算数セットなんて低学年のうちしか使わないのかなと思います。防災頭巾も6年生の子はその後使いませんよね。エプロンも月曜日に持ってくる時の畳み方等ルールを作れば、予備2つくらいで回せるような気がします。鍵盤ハーモニカは、口の部分だけ本人購入にし

たら良くないですか？

- ・各学校のルールを統一化して、より良いルールで皆が気持ちの良い楽しい学校生活を送れるように期待したい

3.4 その他（上記3項目に当てはまらないこと）

■教育

・現在、ファイナンシャルプランナーとして活動しており、知れば知るほど子どもの頃から「お金」というツールについて免疫をつけていってほしいと思います。貯蓄から投資へとと言われる時代を生きる子ども達にお金の仕組みや債権や株についてなど義務教育から学べる環境を作ってあげたい。

・現在、国の移民政策等の影響により、日本語を十分に理解できない外国籍の子どもや保護者が増えている地域があると認識しております。すでに一部の自治体や学校現場では、教育現場の混乱や教職員の負担増加が起きているという報告も見聞きしております。

具体的には、授業以前に日本語の理解や意思疎通のための個別対応が必要となり、本来の授業が円滑に進まない状況や、教師が対応に追われ疲弊している実態があると聞いています。また、保護者同士や学校との間で十分なコミュニケーションが取れず、誤解や摩擦が生じるケースもあるようです。

さらに、言語や文化の違いから、子ども同士の間で分断や見下し、いじめにつながる可能性があることも懸念しています。コミュニティが細分化されることで、学校全体のまとまりや安心感が損なわれてしまわないか、不安を感じております。

現在、大野町ではまだそのような問題が顕在化しているわけではありません。クラスに1.2人です。しかし、今後起こり得る課題として、事前に慎重な検討と備えが必要ではないかと考えています。

そのため、すべてを一律に受け入れる包括的な教育体制を進めることには慎重であるべきだと感じております。まずは自国である日本の子どもたちが、落ち着いた環境で十分な教育を受けられることを最優先に考えた教育体制を整えていただきたいと願っております。

・縦割りの活動を、思い切って様々な行事として組めると、将来、地域に出た時にスムーズに溶け込めるのではないかと考えています。

■施設・設備

・スクールバス、親の送迎どちらでもできるように、駐車場を広くして欲しい。
・授業参観や運動会など、親が参加することになると駐車場は、ちゃんと確保されるのか。

■制服

- ・制服を簡単なものにする 것도検討していただきたいです。制服屋さんも減ったことですし、家庭の負担を考えてポロシャツとかユニクロでいいとか、そういうことに斬新さを取り入れてもらえると大野町のPRにもなるのではないのでしょうか。色々考えていくことは大変だとは思いますが、私の案に賛成する人は周りに多いです。どうかご検討をよろしくお願ひいたします！！
- ・制服の導入をして欲しい。リユースの仕組みを作り、保護者の負担が少なくなる工夫も同時にして欲しい。
- ・中学生になったら、学生服はあるのか。いらぬと思う。
- ・制服ですが兄妹のを使い回しをしたいのと、中2、中3で小中一貫校の校舎になった際に新中1との制服の格差がないようになるべく今の現状のまま男子は学ラン、女子はセーラー服でお願いしたいです。
実際、セーラー服は大野中と揖東中は襟とリボンの違いだけなので襟を取りリボンだけ新しくする程度の変更を望みます。家庭の負担が増えるので。

■子ども会

- ・大野町子ども会（執行部）についても、在り方を見直して頂きたいです。郡や県関係の集まりへの出席はいらぬのでは？上部組織からの脱退を考えていただきたいです。（せめて町の関係機関との会議等の最低限にしてほしいです）
6区では、良くも悪くも、PTAと大野町子ども会の活動が混在してしまっています。登校班がある限り、実質的に子ども会には入会しないといけぬようなシステムになってしまっているため、そうではなく、やりたい人、入りたい人が活動する組織への移行を目指してほしいです。
- ・子供会の勧誘がしつこくて怖い。地域の老人ではなく保護者が存続や廃止を決めたい。

■交通

- ・大野町の子供達が1つになるため子供達の行動範囲も変わってきます。交通面も見直してください。全体的に街灯が無さすぎます。歩道が狭すぎたり途中で歩道が無くなっている所もあります。大型トラックなど特に大野町は多いので心配です。

■義務教育学校整備への是非

- ・中学校と小学校を一緒にする必要は感じないです。校舎を建てるのに時間かかるならまず中学校だけでも合併して、大野中を使用したら良いと思います。その後、大野中のすぐ近くに小学校の専用校舎を建てたら良いのではないですか？
- ・近隣の町でも実績がありますが、小中一貫校に良い印象を聞きません。反対意見も多かったと思いますが、町民の意見は全て公開されないのでしょうか？
最終、どのようなメリットで(子ども達に対して)一貫校とされたのか教えて頂きたいです。
- ・義務教育学校開校に大いに賛成です。少しでも早く開校していただけるとありがたいです。

■義務教育学校整備への是非

- ・新しく学校を新設すると聞いていますが、予算は大丈夫なのでしょうか？無理して作って税金が上がったり他に充てる予算がなくなって、しかも結局市町村合併とかにでもなったらすごくもったいないです。耐震工事をしたり、エアコンを設置したり、トイレを新しくしたばかりなのにもったいないと思います。既存の校舎を使う案を出してほしいです。別に新しい学校じゃなくていいです。大野町にできる範囲で考えていただきたいです。新しい学校設立にしても今ある学校を使う、中心にある学校にすべて統合する、という案も検討していただけないでしょうか。
- ・校舎を建てるのに時間かかるならまず中学校だけでも合併して、大野中を使用したら良いと思います。その後、大野中のすぐ近くに小学校の専用校舎を建てたら良いのではないですか？
- ・大野小大野中は歴史ある学校です。二つをわざわざつぶすのは反対です。大野町が好きで帰ってきてる人がほとんどだと思います。なのになぜ新しく一貫にして校舎を建て直すのでしょうか。それなら大野中、大野小を綺麗にするだけでいいと思います

■スケジュール

- ・現在今の小・中学校に通っている子供達にも幅広い活動をして欲しく 1 年でも早く新校舎を作っていただきたいです。子供達の貴重な時間は戻りません。未来の子供達だけではない事をわかっていただきたいです。
- ・いま現在在学中の子どもが居る立場では、スケジュールが令和 13 年 4 月以降となっていて、13 年 4 月と言い切っていないところが気になっている。
- ・義務教育学校開校に大いに賛成です。少しでも早く開校していただけるとありがたいです。

■その他

- ・先生方の意見を多く聞いて欲しい。現場の声が一番参考になる。
- ・教師とは？と全教員に聞いてみてほしい。
なぜ子供達は、教師を憧れの目で見ないのか、教師には教師とはどういう立場でいるべきか、考えるのも必要。
- ・新しい学校についての情報が少ない
- ・新しい学校に向けての準備が不安、子供会、PTA、自治会、登校班、各ふれあいセンター、情報公開を早めて欲しい
- ・今までの学校はどうするのか
- ・防災力の維持はできるのか
- ・子どもが減る推計はしてるが、増えた時の対応は考えてるのか、また増やす努力はしているのか